

平成 16 年 1 月 15 日

ASP-DAC 2004 実行委員会

アジア最大の設計技術のコンファレンス「第 9 回 ASP-DAC 2004」開催のお知らせ

ASP-DAC 2004 実行委員会(委員長:今井正治・大阪大学教授)は、来る2004年1月27日(火)から30日(金)までの4日間、パシフィコ横浜 会議センターにおいて、ASP-DAC 2004 (Asia and South Pacific Design Automation Conference 2004)を開催いたします。

ASP-DAC は VLSI と電子システムの設計技術に関するアジア・南太平洋地区最大の国際会議で、1995 年の第 1 回開催以来、今回で 9 回目を迎えます。ASP-DAC は、米国の DAC、ICCAD、欧州で開催される DATE の姉妹会議として、国際的にも認知度の高い国際会議です。また、ASP-DAC と同時期に、国内最大の設計技術展示会である「Electronic Design and Solution Fair (EDSFair) 2004」も開催されます。皆様の御参加をお待ち申し上げます。

記

【名称】Asia and South Pacific Design Automation Conference 2004 (ASP-DAC 2004)

【会期】2004 年 1 月 27 日(火)~ 30 日(金)

【会場】パシフィコ横浜・会議センター(横浜市西区みなとみらい 2-1)

【主催】IEEE CAS Society、ACM SIGDA、電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ、
情報処理学会システム LSI 設計技術研究会

【後援】電子情報技術産業協会(JEITA)、半導体理工学研究センター(STARC)、電気通信普及財団、横浜市

【協賛】エレクトロニクス実装学会(JEIP)

【開催概要】

ASP-DAC は、「基調講演」「スペシャルセッションおよびパネルセッション」「チュートリアル」「一般論文発表」「ユニバーシティ・デザイン・コンテスト」というバラエティに富んだ内容で開催いたします。概要は以下の通りです。詳細は <http://www.aspdac.com> をご覧ください。

基調講演

社会的テーマ、設計関連テーマの 2 つの基調講演をご用意しています。前者では、エネルギー効率向上、健康管理、災害対策、食の安全、教育など広範な社会的テーマを解決する先進的な取り組みの紹介。後者は、知的環境の構築により、微細、複雑、省エネルギーなシステム設計を実現する新しい設計手法をご紹介します。

スペシャルセッションおよびパネルセッション

今、最も重要視されている設計課題を取り上げ、その分野の第一人者の解説・提言を聴講できるセッションです。リコンフィギャラブル・コンピューティング、C ベース設計、デザイン・フォー・マニファクチャリングなどの最先端のテーマが満載です。

チュートリアル

最先端の CAD あるいは設計技術を分かりやすく解説するセッションです。大規模 LSI 検証の鍵を握る形式検証、CMOS LSI の重要課題である低消費電力設計、LSI の性能と付加価値を左右するシステムレベル設計など、最近の話題となっている分野をテーマに取り上げ、講師陣はいずれも権威者を内外から集めています。

一般論文発表

世界 28 カ国・地域から投稿された 291 件の投稿論文の中から選ばれた 148 件の論文が発表されます。システムレベル設計から物理設計、テスト設計、アナログ設計、組み込みシステム設計など、全世界から最も注目されている研究課題を扱っています。

ユニバーシティー・デザイン・コンテスト

大学で設計された LSI の中から優秀な作品を選び、ASP-DAC 開催時に賞を授与しています。例えば、MPEG 等の画像処理関連チップ、プロセッサコア、デジタル向けプロセスで製造した DC-DC コンバータや PLL、アンプやミキサーといったアナログ RF 関係のチップ等、多数の優秀デザインの応募があり、採択された合計 28 件の LSI デザインは、口頭とポスターにより発表されます。この中から、最優秀賞 1 点と特別賞 2 点を選定いたします。

【参加登録】

2004 年 1 月 15 日(木)(米国時間)までに参加登録いただきますと、参加費が割引になります。参加登録は Web (<http://www.aspdac.com/>) から行えます。プログラムの詳細もご覧いただけます。

		1月15日以前	1月16日以降
コンファレンス	Member*	38,000 円	42,000 円
	Non-member	48,000 円	52,000 円
	Full-time student	18,000 円	22,000 円
	One-day ONLY	25,000 円	27,000 円
チュートリアル	Member*	24,000 円	28,000 円
	Non-member	30,000 円	34,000 円
	Full-time student	15,000 円	17,000 円

* IEEE、ACM、電子情報通信学会、情報処理学会いずれかの会員

お問い合わせ (ASP-DAC 2004 事務局)

日本エレクトロニクスショー協会 担当：森・鳥飼

東京都港区芝大門 1-12-16 住友芝大門ビル 2 号館 5 階

電話：(03)5402-7601 FAX：(03)5402-7605 E-mail：aspdac2003@aspdac.com

会議のハイライト

【基調講演】

基調講演 I：1月28日(水) 9:00-10:00

“CITRIS: The Center for Information Technology Research in the Interest of Society at the University of California”

Dr. Gary L. Baldwin (Executive Director, CITRIS, University of California, Berkeley)

社会的規模の情報システムは、現在および将来我々が直面する大規模な社会的問題を解決する有効な手段です。CITRIS(Center for Information Technology Research in the Interest of Society)で実施されている 150 以上の研究プロジェクトの研究テーマには、社会全体のエネルギー効率向上、地震発生時の建造物保全のための監視、高齢者の家庭内健康管理、火災現場での消火/救助チームの誘導、飲料/食料の安全性確保、広域への教材提供、等が含まれています。

基調講演 II：1月30日(金) 9:00-10:00

System Level Design Technology for Realizing an Ambient Intelligent Environment

Dr. Rudy Lauwereins (Vice President, IMEC, Belgium)

知的環境すなわち「アンビエント・インテリジェンス」の実現は、システム設計者にとって重要な挑戦です。未来のシステムは、小さく複雑でフレキシブルであり省エネルギーである必要があります。これらの

相反する要求を満たすためには、従来の方法とは根本的に異なる新しい設計手法が必要となります。アンビエント・インテリジェント環境について解説し、我々が構築すべきシステムの特性を説明するとともに、我々が直面している設計課題について述べます。

【スペシャルセッションおよびパネルセッション】

招待講演：1月28日（水）10:15-12:15

“Selected European Activities in SoC Low Power Design Methodologies and Research Networking”

Peter Marwedel (Univ. of Dortmund), Wolfgang Nebel (Oldenburg University and OFFIS), Ahmed Amine Jerraya (TIMA Laboratory)

エンベデッド・チュートリアル：1月28日（水）13:30-15:30

“Embedded System Applications”

中本幸一 (NEC)

パネルディスカッション：1月28日（水）16:00-18:00

“Opportunities with the Open Architecture Test System”

Burnte West (NP Test), Phil Berlson (Irovys), Rene Segers (Philips), Paul Roddy (STC), 西村安正 (ルネサス), 多田哲生 (徳島文理大学)

招待講演：1月29日（木）9:00-10:30

“C-base Design Examples”

講師依頼中

エンベデッド・チュートリアル：1月29日（木）13:30-15:30

“Modeling and Methodology for RFIC”

三浦道子(広島大学), Robert A. Mullen (Cadence Design Systems)

招待講演：1月29日（木）16:30-17:30

“Future of ITS Technologies in the Ubiquitous Society (tentative)”

時津直樹(インターネット ITS 協議会)

エンベデッド・チュートリアル：1月30日（金）13:30-15:30

“DFM in nm-Process Generation”

築山修治(中央大学), Louis Scheffer (Cadence Design Systems), Andray Strojwas (CMU)

パネルディスカッション：1月30日（金）13:30-15:30

“Future Reconfigurable Computing Architectures”

後藤敏(早稲田大学), 若林一敏 (NEC), 佐藤友美(アイピーフレックス), 他依頼中 (Xilinx; Altera; Quick Logic; Quick Silver)

【チュートリアル】1月27日（火）

チュートリアル 1（終日 9:00-17:00）

“Recent Advances and Future Challenges in Design Verification,”

D. Pradhan (Univ. of Bristol, UK), M. Abadir (Motrola, USA), R. Drechsler (Univ. of Bremen, Germany)
LSI システムの大規模化に伴い、設計期間に占める設計検証の比重が大きくなっています。また、シミュレーションに頼った設計検証から形式的な手法に基づく検証ツールを用いる機会も増えています。そこで、本チュートリアルでは、形式的な検証手法について、近年の形式的な検証手法の原理と同時に実際的なツールや適用事例などを含めての解説を行います。

チュートリアル 2（終日 9:00-17:00）

“Design and Runtime Techniques for Leakage Control and Minimization of CMOS VLSI Circuits in Active and Sleep Modes,”

F. Fallah (FLA, USA), Masaud Pedram (USC, USA)

CMOS LSI の設計において、消費電力の削減は重要な問題です。近年の微細化とともに、漏れ電流が消費電力の大きな部分を占めるようになり、その制御を行うことが設計での課題となっています。本チュート

リアルでは、設計時における漏れ電流の制御手法について解説します。

チュートリアル 3 (終日 9:00-17:00)

“System-level Design Methodology for SoC Design,”

藤田昌宏(東京大学), D. Gajski (UCI, USA), 今井崇明(ルネサステクノロジ), 長谷川隆(富士通)

LSI の高集積化に伴い、処理システム全体が 1 チップに搭載されるようになって来ました。このため、ハードウェアばかりでなく、ソフトウェアも含むようなシステムレベルの設計手法が求められています。本チュートリアルでは、システムレベルの設計手法について、現在の手法と今後の方式について解説します。大学および企業からの講師により、理論的な話しだけでなく、実際的な適用例の講演も含まれます。

チュートリアル 4.1 (半日 9:00-12:00)

“Low Power Design Techniques and Tools,”

S. Chattoapdhyay (Intel, USA), R. Patel (Intel, USA)

本チュートリアルでは、低消費電力設計のための設計のテクニックとツールに重点をおいた解説が行われます。Intel の X-scale の設計グループに属する講演者により、実際的な設計テクニックの講演が行われます。

チュートリアル 4.2 (半日 13:30-16:30)

“Energy, Fault-Tolerance, and Scalability Issues in Designing Network-on-Chip,”

R. Marculescu (CMU, USA)

近年のシステム LSI 設計においては、チップ内に複数の演算処理モジュールがあることが一般的です。現在はそれらのモジュール間の接続は単なる結線であることが多いのですが、今後はこれらの接続に何らかのネットワーク構造が用いられることになると考えられています。本チュートリアルでは、チップ内のネットワークの基礎から、応用までの解説を行います。

【一般論文発表】

レイアウト、物理設計、インターコネクト -12 セッション

合成と検証 -7 セッション

システムレベル設計 -5 セッション

アナログ設計、TCAD -5 セッション

組込みシステム -4 セッション

テスト技術 -3 セッション

リコンフィギュラブル・システム -2 セッション

設計事例 -2 セッション

【ユニバーシティ・デザイン・コンテスト】

1月29日(木) 13:30-15:30

【展示会】

名称：Electronic Design and Solution Fair (EDSFair) 2004

会期：2004年1月29日(木)・30日(金)

開場時間：午前10時～午後6時

会場：パシフィコ横浜・展示ホールおよびアネックスホール

主催：社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)

入場：無料(入場の際、登録が必要)

詳細情報：<http://www.edsfair.com/>

以上